

## 小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化推進事業について

小田原市及び足柄下郡3町で進めているごみ処理広域化で必要となる施設の種類や規模等の検討や、広域化の効果検証により、1系統化に向けた基本的事項を取りまとめる「小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化基本構想」を作成しています。

### 基本構想の主な内容

#### ➤ 目標年度の考え方

- 令和17年度から令和22年度頃の施設集約を目標年度
- ・小田原市、湯河原町の施設の基幹的設備改良工事終了後15～20年後を目標

#### ➤ ごみ量の長期的な見通し

- ・1市3町のごみ量は人口減少と減量化・資源化対策の推進により令和5年度（90,664 t）から令和20年度（78,559 t）とさらに約13%減少すると見込まれる。

#### ➤ ごみ処理広域化の基本方針

- 1 安定的な広域処理体制の構築
- 2 環境負荷の低減
- 3 地域における多面的価値の創出
- 4 1市3町の協力体制の充実



#### ➤ 広域化処理体制の検討

- ・可燃ごみ処理施設 想定施設規模約240 t / 日  
経済効率・環境負荷の面から小田原市に設置するのが望ましい。
- ・リサイクル施設 想定施設規模約49 t / 日  
可燃残渣の処理や収集運搬の効率性から焼却施設に併設が望ましい。
- ・最終処分場 想定施設規模約10万 m<sup>3</sup>  
1市3町の役割分担の視点から3町地域に整備することが望ましい。

#### ➤ 今後の事業スケジュール

- |         |          |
|---------|----------|
| 令和7年度末  | 基本構想策定   |
| 令和8～9年度 | 候補地選定調査等 |